

## 街に出て郷土探究学習

総合的な学習として本校では一中若活動と郷土探究学習を2本柱で実施しています。郷土探究学習では、1年生は風の松原、2年生は能代の「食」、3年生は能代の「木材の活用」をテーマとして調べ、調べたことを基に能代の魅力を情報発信するとともに、ふるさと能代と自分との関わりを考えていきます。

10月15日は、各学年とも能代市内の各所に出かけての探究活動。3年生の建造物コースの生徒は金勇、市役所旧議事堂等を訪問しました。金勇では館長さんやガイドの方から、建物の歴史、価値、部屋の造りと工夫などの説明を受けました。また、金勇内では、井坂直幹の展示、本因坊戦の展示、能代の木材工芸品の展示が行われており、それを興味深く見学しました。

主な見学場所は次のとおりです。ご協



金勇で館長から説明を聞く3年生

力、誠にありがとうございました。

◇2年 ※敬称略

朝場畜産、メガ団地（白神ネギ）、越後屋、セキト、桔梗屋、木能実、ケーキハウス田、ダイニング福八、Enishi、ゆめろん、粋

◇3年

井坂記念館、森林管理署、金勇、マルサ、東北木材、丸松銘木、木の学校、市役所、市立図書館、木材高度加工研究所

## メディアと健康講話

10月7日、PTA保健部の行事として、全校生徒とPTAが共にメディアと健康について考える機会をもちました。能代市教育委員会の家庭教育支援事業の一環です。秋田大学の佐々木久長准教授を招き、「メディアに支配されない生活を目指して」と題した講話をしていただきました。佐々木准教授の講話は4年目ですが、毎回テーマを変えて、生徒に問いかけながらお話して下さるので、生徒は最後まで真剣に聴講していました。問いかけに対する生徒の反応のよさを佐々木准教授も褒めていました。さすが一中生です。

「ゲームをすると成績は下がるのか」「どこからがネット依存か」「依存するとどうなるのか」「ならないようにするには」など中学生に知ってほしい内容についてわかりやすく説明していただきました。また、親のゲーム時間、ネットをしている時間、テレビ視聴時間の長短と生徒のメディア依存の関係性についても触れるなど、保護者にとっても考えさせられる内容でした。

個人的には、「ネット中心になると、直接体験を伴わない価値判断になってしまう危険がある。中学生には体験を大切にしてほしい」という言葉が印象的でした。ネット情報を鵜呑みにして行動してしまう生徒、バーチャルのやりとりが増え、人の思いや痛み・温かみを考えることのできない若者が全国的に増えているような傾向も聞かれます。体験活動や人とのつながり、集団での学びという部分は学校の核心部分なので、これからも大切にしていきたいと思います。



講師の問いかけに挙手